



次世代薬局ロボ(薬剤自動管理)と 自動薬剤受取機、デジタル・シェルフOTC販売で 「患者のための薬局ビジョン」実現

日本ベクトン・ディッキンソン株式会社

自動化で薬剤師の時間創出

医療機関との連携、

付加価値業務へシフトを支援

国民のQOL向上へ貢献



■薬局ロボットBD Rowa™ ソリューションとは

自動入庫払出システム(BD Rowa Vmax™ システム)にて薬局様で取り扱う在庫(医療医薬品、一般用医薬品類)の大部分の在庫管理を一手に担います。薬剤師や薬局お勤めの方々に支援し、入庫、ピッキング、在庫管理、陳列、有効期限管理等の業務から、より付加価値の高い業務へのタスクシフティングに貢献します。

また、以下2つのオプション製品と接続することで薬局全体のバリューをアップし、現場の方々の支援ばかりでなく、患者様のCX(カスタマー・エクスペリエンス)を向上します。

1. 自動薬剤受取機(BD Rowa™ ピックアップターミナル)

24時間365日非対面で処方薬の受取が可能となります。服薬指導(対面、オンライン)後に即日を含むいつでも非対面の処方薬の受取が可能です。グレーゾーン解消制度により国内ではじめて実現した自由度の高いソリューションです。

2. OTC販売支援用のデジタルサイネージ(BD Rowa Vmotion™ デジタル・シェルフ)

パッケージや添付文書情報を画面に表示し、薬剤師等による患者様へのOTC医薬品の説明を支援するツールです。さらに画面で選択するだけで薬剤師等の手元にOTC医薬品が払い出され、接客を中断することなく説明や会計ができます。またOTC医薬品の陳列の手間やスペースをなくし、在庫管理の手間も解消します。

■期待される社会的インパクト

超高齢社会となった日本において、医療保険財政と介護は大きな課題に挙げられ、より良い医療実現のため、薬局、薬剤師が大きな役割をはたしていくことが期待されています。国は「2025年までにすべての薬局をかかりつけ薬局にする」という「患者のための薬局ビジョン」を掲げ、患者の服薬情報の一元的・継続的な把握と薬学的管理・指導により重複投与や処方薬剤の相互作用の確認、服薬指導によるアドヒアランス



BD Rowa™ ソリューションの
次世代薬局の姿

の向上、在宅患者に対する訪問調剤の推進、薬局と医療機関の連携など、薬剤師が調剤中心の業務(対物業務)から患者中心の業務(対人業務)にシフトしていくことを掲げています。

BD Rowa™ ソリューションは薬剤師の方々の対物から対人へのタスクシフティングに貢献し、国民ひとりひとりが自己の健康について考え行動してゆける社会を目指しています。

■導入実績

2019年3月に日本第一号導入以来、個人薬局様から500店舗クラスの大手調剤チェーン様やドラッグストア様まで全国での導入実績があります。あらゆるタイプの薬局(大学病院前、病院前、クリニック前、病院敷地内、面分業、駅前、医療モール内、ドラッグストア内、薬局物流倉庫)に設置され、喜んで利用していただき、複数店舗での導入もあります。

■BD Rowa™ 豆知識

1. 医薬品等の回収にもトレーサビリティ機能で安心

全ての在庫はID管理され月ごとに有効期限を迎える商品を確認でき、まとめて払出も可能です。そればかりか、処方箋とロット番号の紐づけでリコール時にもトレース可能です。

2. 高効率収納と高速払出

空き時間に在庫の最適化(箱の再配列)を行うことで限られたスペースでの高効率な収納を実現し、また複数箱同時ピッキングで高速払出を可能にします。



BD Rowa™
ピックアップターミナル



BD Rowa Vmotion™
デジタル・シェルフ

